

# 広島県における仮説検証型公共交通マネジメントの 基盤となる人づくり研修の試行

広島発！  
仮説  
検証型  
計画づくり・  
マネジメント

柴田 益良, 石田 大輝, 永島 誠, オノ平 陽子 | 広島県地域政策局交通対策担当  
土崎 伸, 八木 彰一, 東川 祐樹, 吉川 令, 久谷 真輝 | 株式会社オリエタルコンサルタンツ  
神田 佑亮 | 呉工業高等専門学校環境都市工学分野 渡邊 一成 | 福山市立大学大学院 カ石 真 | 広島大学大学院

## 1 | 背景・目的

人口減・コロナ…、「マネジメント」の危機 ⇒ 「仮説検証」文化を浸透させるべく、R3より市町担当者への研修を実施

- ・自動車利用への依存、人口減、コロナ等、地域交通の厳しい状況が続く…
- ・地域交通マネジメントの実効性を高める、**仮説検証型検討**が重要性を増す
- ・その気運を醸成し、定着させていくため、R3年度より、市町担当者を対象とした、人づくり研修を実施
- ⇒R3の取組で、内容・方法の理解浸透等の効果が得られたが、**実践面では課題**が見られた

「仮説検証型の計画づくり」とは？

**公共交通だけで考え、負のスパイラルに**

- ・多くの地域で、**赤字補填**に頼るしかない現状
- ・**効率化の観点からAIデマンド**等も進むがなかなか利用されない

**必要なのは、問題を広くとらえた、バックキャスト**

- ・公共交通は、生活を支え、ビジネスにも寄与している
- ⇒地域のための望ましい姿があり、そこから**バックキャスト**することで、**今やるべきことが見えるはず**

**しかし、最初から、将来の地域の姿を見通すのは難しい…**

アイデア・思い付きを通じ、視野を広げ深めていく、「仮説検証型」の検討・マネジメントが不可欠

## 2 | 実施概要

【R4年度】より実践的な仮説づくりを体験し、理解・実感が深まるよう、全4回の研修を実施

・13市町14名が参加し、計4回の研修を実施

**第1回 8/2 (火)**

・課題・対策の書き出し  
・グルーピング

**第2回 9/30 (金)**

・現地確認  
・アイデア再抽出・整理

**第3回 11/4 (金)**

・共創の観点での取組の再検討  
・全体整理

**第4回 12/16 (金)**

・体系の再整理  
・進め方の検討

計画策定市町をフィールドに、全員で現地確認を実施

明快な方向性整理を意識して議論 (= 仮説の実効性アップ)

研修での議論だけで計画書に沿ったまとめができる事を共有

## 3 | 検証結果 (事前・事後アンケート結果)

仮説づくりの必要性や方法の浸透が進むが、自分が実践することへのハードルはまだ残る

**効果**

・仮説づくりを**必要**と感じる割合が**増加**

▼仮説づくりが必要だと思うか

回答	研修前 (N=11)	研修後 (N=11)
とても思う	27%	45%
ある程度思う	64%	55%
あまり思わない	9%	
全く思わない		
わからない		

・仮説づくりを**実施**できると感じる割合が**増加**

▼仮説づくりを実施できると思うか

回答	研修前 (N=11)	研修後 (N=11)
できると思う	27%	55%
勉強・経験を積みればできると思う	64%	36%
できるかもしれないが難しい	9%	
難しい		
わからない		

**課題**

- ・立てた仮説が**適切かどうかの自信**を持ちにくい
- ・アイデアを**ブラッシュアップ**していける**意見交換の場**がない

▼仮説検証型検討において課題になりそうなのは何か

仮説として思いついたが、それが適切な自信を持っていない	5
自分の中での仮説をどのように思い描いているのかわからない	4
それを具体化するためのデータや情報や調査等のやり方がわからない	3
その点で、どのように取りまとめたいかは良いイメージが湧かない	3
役所の上司や、コンサルタント等が理解してくれない可能性がある	2
一緒にモニタリングやブラッシュアップを行える事業者や地域関係者がいない、そのような場がない	2
その他	1

## 4 | 今後の展開

【今後の人づくり研修】県の関連取組と連動させながら、「仮説検証」の実践を促す軸として引き続き展開

工夫しつつ継続実施

**人づくり研修**

より実効的に

- 使える形のアウトプット
- 実際の計画づくりのタイミングを考慮

関連施策を浸透させる場として連動

**県交通ビジョン (R5策定)**

県民の暮らし、地域・経済の共創を支え、ひろしまの価値を高める社会基盤としての地域公共交通の実現

**広島県の関連施策・事業**

- MaaSモデルづくり**  
・市町のMaaS導入試行を支援
- モビリティデータ連携基盤**  
・県内関連データの統合基盤を整備

各事業の展開にあわせ最適形態を取りながら展開

広島発、仮説検証型の交通マネジメント文化の醸成へ